

PRESS RELEASE

2015年12月7日
株式会社三菱総合研究所

日銀短観（2015年12月調査）予測

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 大森京太 東京都千代田区永田町二丁目10番3号）では、12月14日（月）に日本銀行より発表される予定の「企業短期経済観測調査（日銀短観）2015年12月調査」の業況判断DIについて予測を行った。

大企業・全産業の業況判断DI	—————	+ 17%ポイント（9月調査比 ▲2%ポイント）
同・製造業の業況判断DI	—————	+ 10%ポイント（9月調査比 ▲2%ポイント）
同・非製造業の業況判断DI	—————	+ 23%ポイント（9月調査比 ▲2%ポイント）

業況判断DI（大企業・全産業）は、+17%ポイント（前回9月調査から▲2%p低下）と5期ぶりの低下を予想する。中国経済の減速の影響などにより生産や設備投資が伸び悩み、非製造業を含めて企業活動が慎重化していることから、製造業、非製造業ともに業況の悪化を予測する。

製造業の業況判断DI（大企業）は、+10%ポイント（前回調査から▲2%p低下）と予測する。鉄鋼や非鉄金属など市況の悪化により、素材業種を中心に業況が悪化したとみられる。

非製造業の業況判断DI（大企業）は、+23%ポイント（前回調査から▲2%p低下）と予測する。製造業の生産活動が弱含んだため、卸売業や運輸業など非製造業の業況も悪化したとみられる。マンションの不正問題があった不動産業での業況悪化も非製造業の業況を押し下げたと予想する。

先行きの業況判断DI（大企業）は、中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクが残るものの、輸出や生産が最近持ち直していることや、雇用・所得環境の改善から消費が緩やかに回復するとみられることなどから、製造業は+11%ポイント、非製造業は+24%ポイントといずれも小幅改善を予想する。

日銀短観（2015年12月調査）業況判断DI 予測結果

「良い」-「悪い」 単位：%ポイント		実績		予測	
		2015年 6月	2015年 9月	2015年 12月	2016年 3月
		6月調査 「最近」	9月調査 「最近」	12月調査 「最近」	12月調査 「先行き」
大企業	全産業	19	19	17	18
	製造業	15	12	10	11
	非製造業	23	25	23	24
中堅企業	全産業	10	12	9	9
	製造業	2	5	3	3
	非製造業	16	17	14	13
中小企業	全産業	2	3	▲1	▲2
	製造業	0	0	▲3	▲4
	非製造業	4	3	▲1	▲3

注1：シャドー部分が2015年12月調査の予測値。

注2：「先行き」は、調査時点から3か月後を表す。

資料：実績は日本銀行「企業短期経済観測調査」、予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

株式会社 三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目10番3号

政策・経済研究センター 森重彰浩 坂本貴志 田中康就

電話：03-6705-6087 FAX：03-5157-2161 E-mail：takashi_sakamoto@mri.co.jp

広報部 上岡・瀬戸口 電話：03-6705-6000 FAX：03-5157-2169 E-mail：media@mri.co.jp

尚、本資料は、内閣府記者クラブ、金融記者クラブに配布致します。